

令和3年9月16日

## **スポーツコース** (48期生より)

### 【スポーツコースの説明】

運動部(ダンス部含む)に所属し、ほとんどの私立文系大学進学にも十分対応したカリキュラムになっています。論理的なスポーツ医療知識を習得し、様々なスポーツを学びます。スポーツを通じて人々の健康維持に貢献できる人材を育成します。

特に、男女バレー、男女バスケ、野球、サッカーの6つのクラブは部活動と連携して強化を図ります。

### ＜専攻スポーツⅠ＞(2年生)と＜専攻スポーツⅡ＞(3年生)

男女バレー、男女バスケ、野球、サッカーの6つのクラブに所属している2年生と3年生は部活動と連携して自分の得意な専門種目の時間をより多く確保し、クラブ活動とは違う視点で授業を受けることができます。その他の運動部所属の生徒は、1つのスポーツに限らず様々なスポーツを学びます。

### ＜スポーツ健康ゼミ＞(2年生)

あらゆる角度からスポーツをとらえ、様々な理論講習(心理学・栄養学・コンディショニング・メンタルトレーニング)、実習(心肺蘇生法・テーピング・スポーツマッサージ・RICE処置)を通して、生涯にわたってスポーツに取り組む姿勢を育成します。

### ＜スポーツA＞(2年生)

必修授業で実施されている種目(バレーボール・ソフトボール・ハンドボール・バスケットボール・サッカー)を中心により深く学習し、高度なゲームが出来るようにします。

令和3年度は、ラグビー、3×3(スリーエックススリー)などの競技も行いました。

### ＜ライフスポーツ(3年生)＞

生涯スポーツにつながる種目(ターゲットバードゴルフ・バドミントン等)の実践を通して、スポーツに関する興味・関心・意欲を育てます。

### ＜スポーツB＞(3年生)

必修体育では行わない、新しいスポーツ(フットサル・アルティメット・フライングディスクゴルフ・ショートテニス)の実践を通して、スポーツに関する興味・関心・意欲を高めます。

## 情報・芸術コース (48期生より)

### 【情報分野の説明】

情報系の大学・専門学校進学を考えている生徒が選択するコースですが、情報系以外のほとんどの私立文系大学進学にも十分対応したカリキュラムになっています。情報社会を生きていくために必要な技術や表現方法、考え方について学習します。コンピュータに興味を持っている人や、コンピュータで表現することに興味を持っている人は選択してください。

### ＜情報デザイン＞（2年）

コンピュータを利用してイラストレーターやフォトショップといった画像処理ソフトをつかい、イラスト作成や画像編集の学習をします。また、コンピュータを表現のツールとして使用し、表現する技術と方法を学習します。

### ＜情報サイエンス＞（2年）

1年の「情報Ⅰ」の内容をさらに深化しつつ、情報コースで学んでいくために必要な基礎的な知識及び技能や活用について、包括的に学ぶ科目です。内容は、コンピュータのしくみ、ネットワーク、データ処理・活用方法などを学びます。

### ＜情報演習Ⅰ＞（2年）

文書作成ソフトウェア、プレゼンテーションソフトウェアなどを用いて表現する方法について学習します。ソフトウェアによる表現の違いを理解し、情報を活用していく力を身につけます。

### ＜コンテンツ制作と発信＞（3年）

表現方法の基礎を、コンテンツ作成から理解し、自分から表現活動ができるようになることを目指します。様々なコンテンツ作成の実習を通して、情報発信するために必要な知識・理解を深めていきます。2年次の学習を発展させた内容を学習します。

### ＜情報システム＞（3年）

情報処理の基礎をシステム作成から理解し、簡単な運用ができるようになることを目指します。実習を通して、システムの作成・運用を行い、知識・理解を深めていきます。

### ＜情報演習Ⅱ＞（3年）

情報サイエンス、情報演習Ⅰで学んだことを活かし、発展的なICTに関する知識（テクノロジー系、ストラテジ系、マネジメント系）を学習します。また、今までに、身に付けた知識・技能を活用し、各々が探求し発表します。

### 【造形分野の説明】 ※休日に作品制作などがあることを、コース選択時に念押しの必要あり

高校卒業後の進路が芸術（造形・美術分野）系大学・短大・専門学校への進学を考えている生徒が選ぶコースですが、芸術系以外のほとんどの私立文系大学進学にも十分対応したカリキュラムになっています。基本的には芸術系大学進学のためのコースとなるため、様々な入試形態に合わせた作品制作や「デッサン」、「色彩構成」といった入試必修科目を受ける事になります。

#### ＜造形演習Ⅰ＞（２年）・＜造形演習Ⅱ＞（３年）

入試の実技試験に出題される「デッサン」、「色彩構成」、「立体造形」について、２年時には基本を習得し、３年時には進路に合わせたコーナー制（生徒一人一人の進路に合わせた教材）で、学習します。多くの過去の入試問題にも挑戦します。

#### ＜工芸演習Ⅰ＞（２年）・＜工芸演習Ⅱ＞（３年）

＜造形演習Ⅰ＞・＜造形演習Ⅱ＞が「平面の仕事」であるのに対して、＜工芸演習Ⅰ＞・＜工芸演習Ⅱ＞では、様々な素材を組み合わせて作品を作ります。２年時には櫨（けやき）の塊（かたまり）から「ノミ」を使って彫り出す「カービング」の基礎と「スタンドグラス」の基礎などを学び、３年生では、１年かけて「スタンドグラス」の「シェード（ランプの傘）」と「櫨（けやき）の土台」を制作し、冬季に行われるコンクール展に出品します。「造形コース」での「卒業制作」となります。

#### ＜素材研究＞（２年）

他の高校では扱うことがない素材を主に扱い、大学AO入試に向けた作品制作が主となります。扱う素材は、真珠、鼈甲（べっこう）、象牙（ぞうげ）、サンゴ、孔雀石（マラカイト）などを組み合わせて、小さいけれど完成度の高い作品を作ります。

#### ＜創作発表＞（３年）

生徒各自が制作したいものを決定し、学期に１点あるいは年間１点の作品を制作し、高校展・芸術文化祭に出品する。中学生体験授業や学校説明会時に展示し、発表する。

### 【選択上の注意】

設備や教室の関係上、人数制限を設ける科目もあります。

## 【音楽分野の説明】

高校卒業後、音楽系大学・短大や、初等教育・幼児教育への進学を考えている生徒が選択するコースですが、音楽系以外のほとんどの私立文系大学進学にも十分対応したカリキュラムになっています。ここ最近、大学・短大への進学が可能となってきたポピュラー系音楽も含まれます。

### ＜ソルフェージュ＞（2・3年）

音楽を形づくっている要素を正しくとらえ、音楽性豊かな表現をするために、器楽、声楽、創作の相互の関連を計りながら、基礎的な能力である、「読む」「うたう（奏でる）」「きく」力を身につけます。

### ＜音楽理論＞（2年）

音楽の規則、基礎的な理論を理解し、演奏、創作へ活用する力を身につけます。特に、音程、音階、和音の構造については、クラシック、ポピュラー、どちらにも役立つ内容です。

### ＜声楽演習＞（2年）

歌唱時の姿勢と発声法に留意し、練習曲だけにとどまらず、合唱、重唱、ミュージカル作品など、様々な演奏形態にチャレンジ！表現力を高めることを目標とします。

### ＜楽典演習＞（3年）

「芸術音楽」、「音楽理論」、「ソルフェージュ」等で学んだ知識をフルに生かして取り組む、座学での音楽総合学習。真実を積み上げれば、正しい姿が見えてきます。

### ＜創作発表＞（3年）

文化祭、学校見学会等を発表の場としてとらえ、作品制作（演奏、作曲、編曲など）を行います。コースの授業で得た音楽の知識・表現力を基に、他教科とのコラボレーションを通して、今までになかった発想や表現方法も探り、自己を表現します。

## インターナショナルコミュニケーションコース (ICC) (48期生より)

### 【ICC のコース説明】

高校卒業後の進路に難関私立文系大学進学をめざす人が選択するコースです。発展的・専門的な「英語・国語・地歴」の学習、演習を通して、語学力・語彙力・知識を身につけます。

国際社会の中で活躍し、世界の人々と臆することなく対等にコミュニケーションをとるための教養として、伝統文化や歴史、国際情勢に対する理解を深め、ツールとしての語学力の習得をめざします。学習の先にあるものを見つめ、自分の将来を考えられる生徒を育成します。

### ＜講読古典＞ (2年)

1年「言語文化」や2, 3年「古典探求」で学習する基礎～標準的な内容をもとに、進学に向けてより応用的な内容を学習し、古典の知識や語彙力、読解力を身につけます。

### ＜アドバンス英語Ⅰ＞ (2年)

1年次に修得した基本的な英語の技能をもとに、主に進学に向けた応用的な英文読解力や英文法理解力を身につけます。

### ＜コミュニケーションスキルズ＞ (2年)

1年で学習した基礎的な英語力に加え、より発展した内容の聞き取りや発表、読解を通して進学に対応できる力を身につけます。

### ＜国語演習＞ (3年)

1, 2年次に身につけてきた知識や技能をもとに、総合的・発展的な国語（現代文、古典）の演習に取り組み、進学に対応できる力を身につけます。

### ＜アドバンス英語Ⅱ＞ (3年)

1・2年次に修得した基本的な英語の技能をもとに、主に進学に向けた発展的な英文読解力や英文法理解力を身につけます。

### ＜日本史探求演習・世界史探求演習＞ (3年)

「日本史探求」選択者は「日本史探求演習」を選択し、「世界史探求」選択者は「世界史探求演習」を選択して、学びを深めるとともに大学入試に備えます。